

環境衛生課からの お知らせ

環境衛生課（吉備庁舎）
清水行政局 建設環境室

「ごみ分別すれば資源」

田殿小学校4年生 プラスチック収集場見学

6月8日（木）、田殿小学校4年生の児童がプラスチック収集場の見学に来てくれ、有田川町のプラスチック収集の現状について学びを深めました。



①プラスチックを手作業で分別する作業台。ここに流れてきたごみのうち、汚れのひどいものや禁止物が取り除かれます。



②出来上がったプラスチックベール。1つの重さは40～45kg。これらは再商品化工場で処理され、パレットや建築資材に生まれ変わります。



③プラスチック収集場では発砲スチロールを圧縮してインゴットという資源物も作成しています。インゴットはプラスチック製品などに生まれ変わります。令和5年度（2023年度）は33円/kgの収入になります。

児童の感想



プラスチック収集場に行って、いろいろと教えてくれました。特に驚いたのは、1カ月で集まってきたごみの23トン中21トンしかリサイクルできないということです。2トンもリサイクルできないと知って、ごみはきちんと洗って、水を切って、分別した上で出したいと思いました。

プラスチックベールのきれいさが和歌山県第2位だということが嬉しいです。これからもごみを減らしたり、分別したいと思います。



プラスチックのごみの量がすごかった。手作業で分別していることが分かり、大変だなと思いました。

家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和5年（2023年）5月／約322トン
前月から約27トンの増加

最近よく「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」という言葉を目にします。これは国連が定めた「持続可能な開発目標」の呼び名です。ごく簡単にいうと「みんなが幸せで快適な生活を送れるような未来を作るための目標」でしょうか。

私たち生活者が直接SDGsに取り組める活動の一つがごみの減量化です。より良い地球の未来のためにごみを減らしましょう！

